



地域の皆さまとじゅうろく

十六銀行のCSR



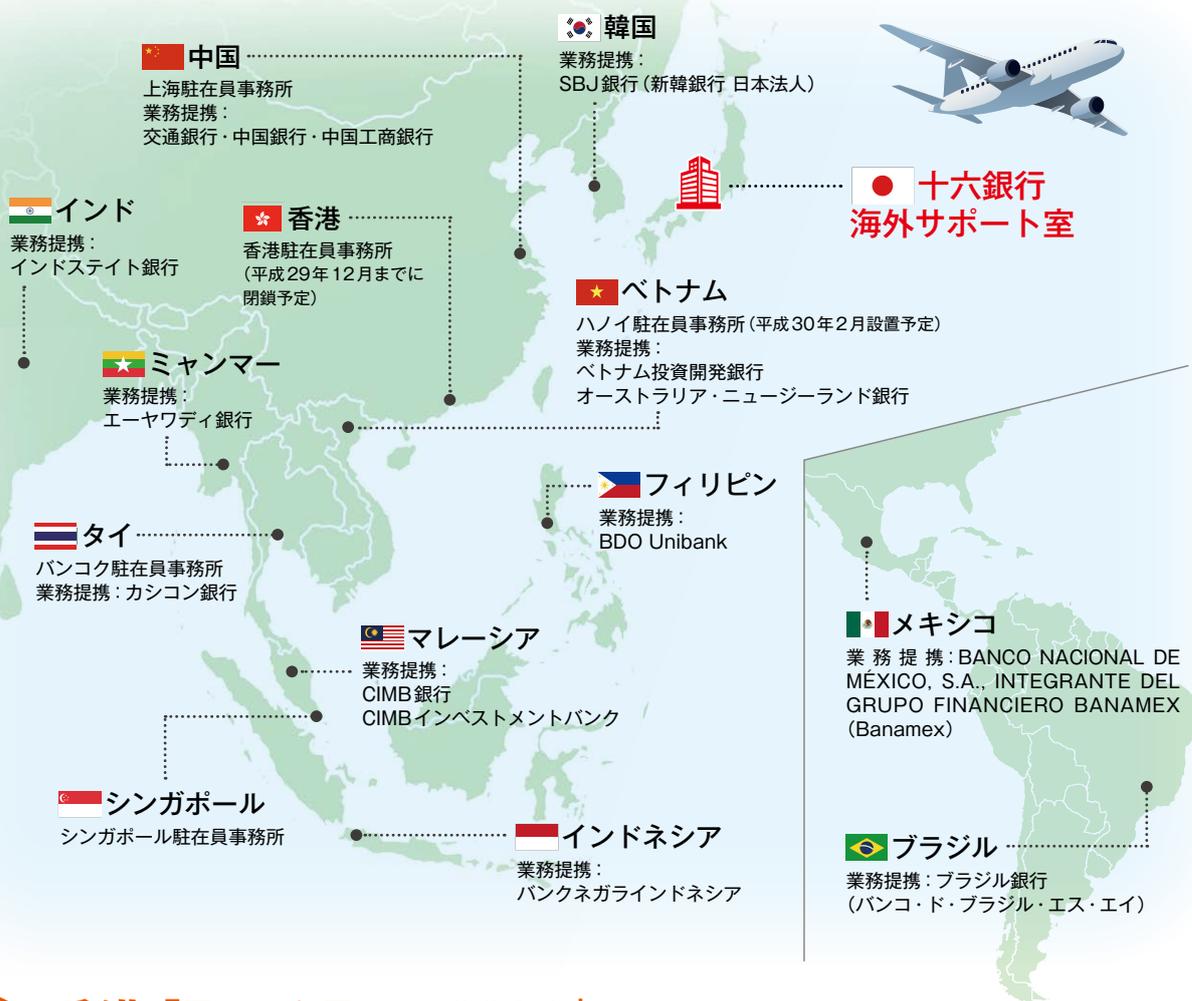
海外ビジネスサポート

十六銀行は、皆さまの海外事業展開を支援いたします。

アジア新興市場の拡大により、お取引先さまの海外販路開拓・海外現地生産への取組みが広がっています。十六銀行では香港、上海、シンガポール、バンコクの4

駐在員事務所ならびに11ヶ国にまたがる15の提携金融機関による海外サポート体制により、お取引先さまと海外とを結びつける取組みを一層強化していきます。

(平成29年3月31日現在)



海外ビジネスサポート

地域経済のために

地域社会のために

地球環境のために

地域の皆さまとお取引先



香港「Food Expo2016」への出展支援

平成28年8月に香港貿易発展局の主催によるアジア最大級の食品見本市「Food Expo 2016」が香港にて開催されました。当行は香港貿易発展局と平成28年1月より業務提携を開始しています。本展示会には世界25ヶ国から約1,400の企業や団体が出展し、食品や飲料製品をはじめ、調理器具など食に関連した製品やサービスについてPRがなされました。当行は同展示会に専用の出展ブースを確保し、出展料の半額を補助するなど出展企業のサポートを行いました。



会場(当行ブース)の様子



「じゅうろく アジア 最新事情報告会 2017～駐在員レポート& 交流会～」の開催

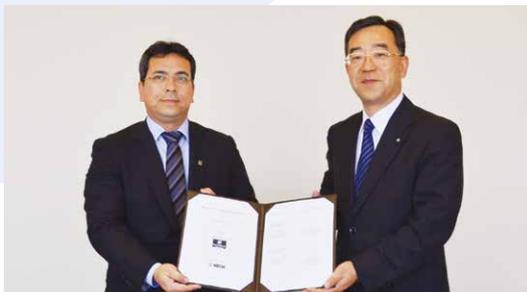
平成29年4月に、アジア最新事情報告会を開催し、海外駐在員事務所長らが海外現地における生の最新情報をレポートしました。また、「海外販路開拓のポイントと戦略」などをテーマにパネルディスカッションを行い、アジア最大級の食品見本市「Food Expo (香港)」の紹介や当行が業務提携した「アリババ」の活用方法などについてお伝えしました。

さらには、「じゅうろくアジア留学生奨学金」を利用するベトナム留学生によるレポートも行い、お取引先企業さまの海外ビジネス展開に有益となる報告会になりました。



ブラジル銀行および Banamex(メキシコ合衆国 の金融機関)との業務提携

平成28年5月に、ブラジル最大の商業銀行であるブラジル銀行(バンコ・ド・ブラジル・エス・エイ)、9月にはメキシコの現地金融機関であるBANCO NACIONAL DE MÉXICO, S.A., INTEGRANTE DEL GRUPO FINANCIERO BANAMEX (Banamex) と業務提携を行いました。これらの業務提携により、ブラジルやメキシコの経済・投資環境に関する情報の提供や現地での各種金融サービスの提供が可能となりました。



ブラジル銀行との調印式

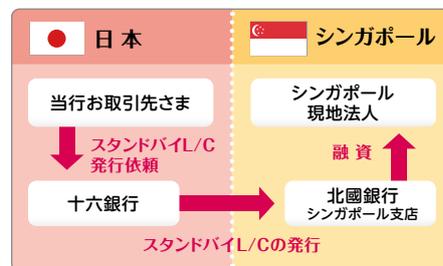


地銀連携による 海外現地法人への融資実行

平成28年12月に、お取引先企業さまのシンガポール現地法人が現地での借入れを行うにあたり、当行は北國銀行シンガポール支店へスタンドバイL/Cを発行しました。

北國銀行とは「海外ビジネス支援に関する広域連携」※により、これまで共同で商談会や交流会を開催してきましたが、お取引先企業さまの海外現地における資金調達支援を地域金融機関同士で連携することは全国的にも珍しい取り組みです。

当行では、海外現地法人の資金調達支援としてクロスボーダーローンや国際協力銀行との協調融資、本件のようなスタンドバイL/Cに取り組むことで、「金融仲介機能の発揮」や「企業のライフステージに応じたソリューションの提供」に努めていきます。



本件スタンドバイL/Cの概要図

※当行、山陰合同銀行、広島銀行、北國銀行の4行は、平成23年5月にお取引先企業さまの海外ビジネス支援のため「海外ビジネス支援に関する覚書」を締結しています。



ベトナム・ハナム省、 ドンバンⅢ工業団地との 業務提携

平成29年4月に、ベトナム社会主義共和国ハナム省およびドンバンⅢ工業団地インフラ投資開発株式会社と業務協力協定を締結しました。

ハナム省とは各種イベントの共同開催や投資環境などの情報提供における連携強化に関して、ドンバンⅢ工業団地とは当行のお取引先企業さまに対する優遇措置(土地・建物価格や工業団地管理費等)に関して、協定を締結しました。

これらの業務協力協定の締結は、当行が日本の金融機関では初めてであり、今後ともベトナムへの進出や現地でのビジネスサポートの強化に努めていきます。



地域経済のために

「六ツ星観光プロジェクト」始動!!

～地方銀行六行による広域連携～

平成28年6月、経済や物流のつながりが強い東海・北陸の地銀6行（当行、百五銀行、名古屋銀行、北國銀行、福井銀行、富山第一銀行）は、魅力ある観光地域づくりに向けて、「観光」をテーマに広域で連携し、「六ツ星観光プロジェクト」を締結しました。当行は、東海・北陸地域の5行と連携して、各地域の歴史、伝統、文化、食、地場産業などの「地域の宝物」を、地銀ならではの目利きやネットワークを活用して、新たな観光客を誘致できるようにサポートするなど、地域経済の活性化に寄与する活動をしていきます。



多くの方に、東海・北陸の魅力を知らせてもらいたいわ!



NPO法人ORGANと「観光地域づくりに関する協定」を締結

平成28年5月、NPO法人ORGANが観光庁より東海圏初の地域連携DMO候補法人に登録されたのを契機に、「長良川DMO」の核となるNPO法人ORGANと連携協力協定を締結し、岐阜県の最重要施策の1つである観光振興に関して、さらに踏み込んだ取組みを行うことで、地方創生の実現に寄与していきます。



岐阜市川原町
長良川デパート湊町



外国人会話支援シート「タッチdeコミュニケーション」を作成

平成29年2月、近年、岐阜県を訪れる外国人観光客が増加していることを受け、外国人会話支援シート「タッチdeコミュニケーション」を作成しました。リリース時には、平成28年9月に高山市と締結した地方創生に関する協定に基づき、観光地づくりの一助となるよう本シートを贈呈しました。さらに、平成29年3月には、岐阜市へも贈呈しています。「外国人が安心して訪れるまちづくり」を目指します。



海外ビジネスサポート

地域経済のために

地域社会のために

地球環境のために

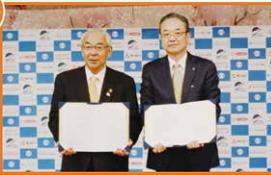
地域の皆さまのお取引状況

各自治体、商工会議所・ 商工会等との連携協定締結を推進

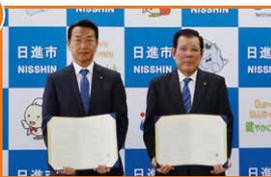
当行は、地方創生や地域の活性化を目的に、各自治体および商工会議所・商工会等と連携協定の締結を推進しています。平成29年3月末現在の連携協定数は、自治体26先、商工会議所・商工会26先となり、様々な地域課題に対して相互に連携協力することで、地域の活性化に貢献していきます。



中津川市



日進市



関市



連携協定先
[自治体]

26先



岐阜県立岐阜商業高等学校と
「地方創生を担う
人材の育成に関する協定」を
締結【平成29年3月】

岐阜の将来を担う若手人材を育成し、
郷土への誇りと愛着を深め、
若者の地元定着を目指します。



県岐商あられ

めぐみの農業協同組合との 人材交流開始

平成28年3月に当行とめぐみの農業協同組合(以下、JAめぐみの)との間で締結した「地方創生の深化に向けた農業振興に関する連携協定」の一環として、平成28年10月よりJAめぐみのとの間で人材交流を開始しました。人材交流を開始することにより、農業振興に関するノウハウを蓄積し、地域に根付いた「農」や「食」の振興に取り組みます。また、農業振興だけでなく、観光や移住定住に関する地方創生につながる各種取組みを実現させていきます。



地銀と損保の協定締結は、
東海・北陸地域で
初めての取組みだったんだ。



東京海上日動火災保険(株)と 「地方創生にかかる包括連携協力に関する協定」を締結

平成28年12月、東京海上日動火災保険株式会社と連携協力し、互いの人的資源等を活用した幅広い連携・協力関係により、地方創生の諸課題に取り組むことで一致しました。2金融機関が手を携えることで、より質の高いサービスを目指します。

岐阜県の物産フェア
東京海上日動火災保険株式会社本店にて



当行独自のビジネスマッチングスキーム 「サプライヤー探索サービス」が好評です!

キラリと光る技術・商材・サービスを持ったサプライヤーを、当行の161店舗のネットワーク網で効率的に探すことができます。

平成29年3月31日現在で、商談会の開催件数は180回、延べ商談数は2,800件を突破しました。

商談回数

	商談会回数	延べ商談数
H23年度	3	31
H24年度	13	180
H25年度	27	399
H26年度	35	465
H27年度	56	937
H28年度	46	872
計	180	2,884



「NOBUNAGA21地域経済活性化セミナー」の開催

平成29年2月、ベンチャー企業、起業家の発掘・育成を通じ、地域経済の活性化・発展に貢献することを目的として開催しました。

本セミナーでは創業者向け助成金「NOBUNAGAファーストステージ」と新規事業向け「ニュービジネスプラン助成金」の授賞式を開催しました。また、ロイヤルブルーティージャパン株式会社 代表取締役社長 吉本桂子氏および株式会社プラス 代表取締役社長 河合達明氏を講師に迎え、講演を行いました。



「東海地域 中核産業支援ファンド」 3企業に成長資金を供給

平成28年1月、当行・十六リース・日本政策投資銀行による、東海地域の中核産業支援をはかるため、本ファンドを組成しました。

本ファンドは、東海地域の主要産業である製造業の中核企業による、事業基盤の強化、成長・拡大を支援するため、劣後ローンや種類株式（優先株式など）により、通常の融資よりも一歩深い成長資金を供給するものです。

平成29年3月までに、3件、計7億円の投資を行いました。

	所在地	投資時期	金額	投融资の別
航空宇宙部品メーカー	非公開	28年5月	3億円	優先株式
菓子メーカー	岐阜県	28年9月	2億円	優先株式
輸送用機器部品メーカー	愛知県	29年2月	2億円	劣後ローン

じゅうろくCSR私募債 「つながるころ」の取扱い開始

平成29年1月より、じゅうろくCSR私募債「つながるころ」の取扱いを開始しました。

お取引先さまの私募債による資金調達を記念して、当行が寄付金を拠出し、地域の小中学校等へ書籍やスポーツ用品等を寄贈し、地域社会と子供たちの「つながるころ」を応援する仕組みとなっています。

今後もじゅうろくCSR私募債「つながるころ」の拡充をすすめ、地域貢献に努めていきます。



地域の子供たちの
学びや成長を
後押ししたいわ。



「清流の国ぎふ 食と農の商談会」の開催

平成28年7月、「清流の国ぎふ 食と農の商談会」をじゅうろくプラザで開催しました。岐阜県と連携して、県内の農産物生産者および食品加工業者と岐阜を中心とするバイヤーを結びつける場を提供し、豊かな食材の魅力発信や販路拡大のサポートを通じて、地域の食関連産業の振興をはかることを目的に開催したものです。

当日は、岐阜県の農産物生産者・加工業者27社がこだわりの食材を品評会の形式で展示を行い、バイヤーが出展商品の味や素材のこだわりなどを評価しました。その後開催された食品バイヤー14社との個別商談（約100件）では、バイヤーと出展者との熱い商談が行われ、盛況裡に終わりました。

なお、本商談会は11月に開催された「第19回全国農業担い手サミットinぎふ」の応援行事として、また、めぐみの農業協同組合との連携協定の一環として開催しました。



品評会形式の展示



めぐみの農協連携出展者

地方銀行 フードセレクション2016の開催

平成28年11月、「地方銀行フードセレクション2016」が東京ビッグサイトで開催されました。全国の地方銀行52行が共催して、各行と取引のある食品関連業者の販路開拓支援を目的に開催したもので、当行は2回目の参加となりました。会場では、1万2千人を超える百貨店、食品スーパーなどの食品担当バイヤーと出展社との商談が活発に行われました。

当行は、こうした商談会の開催により、地域の食品産業の発展をサポートしていきます。



地方銀行が主催する
国内最大級の
「食の商談会」なんだ。



名古屋三越共催 「GIFU スプリングマルシェ」 の開催

平成29年3月、イオンモール常滑にて、岐阜県産品のPR・販路支援を目的に「名古屋三越」と共催して、マルシェを開催しました。4日間の開催期間中の来場者数は2万人を超え、15社の出店ブースは連日大盛況となりました。「地域金融機関である当行」と「ブランド力・販売力のある名古屋三越」が、地方創生のために協業した全国的にも珍しい取り組みです。



©岐阜県 清流の国ぎふ・ミナモ 0553

「岐阜大学×十六銀行×NEXCO中日本 地域商材発掘」ワークショップの開催

平成29年2月、当行初の取り組みとして、岐阜県内高速道路SA・PAとのビジネス商談会に参加を希望する事業者を対象としたワークショップを開催しました。ワークショップでは、参加事業者が提案したい商材についてプレゼンテーションを実施し、岐阜大学の学生を交えた意見交換を行うことで、商談会で商品をより効果的に提案するための「気づき」の場を提供する機会となりました。

今後も当行では事業者の本業支援につながる商談会を積極的に開催するとともに、商談成立のための側面支援につながる取り組みも実施していきます。



地域社会のために

地域社会、地球環境のために、幅広く貢献してまいります。

「夏休み親子特別企画」 《じゅうろくキッズフェスタ!》 の開催

平成28年7月に、当行の栗野研修所にて「夏休み親子特別企画」《じゅうろくキッズフェスタ!》を開催しました。7回目となる今回は、抽選で合計50組100名さまをご招待しました。実際に店舗で使用している端末機を使用して「通帳作成模擬体験」を行ったほか、「お金に関するクイズ」や「親子で学ぶ金融セミナー」を開催し、お金の大切さや銀行の役割について楽しく学んでいただきました。また、「札勘」や「1億円を持ち上げる」という体験を通じて、夏休みの親子の思い出作りをお手伝いしました。



通帳作成模擬体験



札勘体験

「じゅうろくカップU-11サッカー大会」の開催

平成28年4月に、11歳以下を対象とした「第9回じゅうろくカップU-11サッカー大会」を開催し、岐阜県内各地区の予選を勝ち抜いた8チームにより、白熱した試合が繰り広げられました。優勝・準優勝チームには、FC岐阜ホームゲーム「十六銀行サンクスマッチ」に招待し、試合前に表彰式を行いました。



「ぎふ清流ハーフマラソン」で 市民ランナーの皆さまを 応援しました!

平成29年4月に開催された「第7回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」で、当行行員およびその家族が、沿道からランナーの皆さまに声援を送りました。また、岐阜メモリアルセンターの芝生広場では、県立岐阜商業高等学校の生徒の皆さまと当行の共同ブースを出店しました。生徒の皆さまによるラスクの販売やジビエカレーの試食、当行創立140周年記念“ありがとうプレゼント”等を行い、多くの方にお立寄りいただきました。



地域に根ざした
スポーツや文化活動を
応援しています!!



卓球部の活躍

～地域の皆さまに愛されるチーム作りを目指して～

当行卓球部は昭和55年創部以来、皆さまの温かいご支援のもと地道な努力を重ね、日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、女子1部チームとして活躍しています。

平成28年度は、「前期日本卓球リーグ」で3位入賞、「全日本実業団卓球選手権大会」では10年ぶりの優勝、「JTTLファイナル4(内閣総理大臣杯)」に4年ぶりの出場を果たすなど好成績を収めました。

また、個人では「後期日本卓球リーグ」で通算20勝を挙げた松澤選手がゴールデンラケット賞と優秀選手賞、高橋選手がファインプレー賞をそれぞれ受賞しました。

競技活動と併せて、地域主催の卓球教室などに積極的に参加し、卓球競技の普及・レベル向上にも努めています。



「じゅうろくプロムナードコンサート2016」の開催

地域の皆さまに、芸術・文化に触れていただく機会を提供することを目的として、平成28年11月に、長良川国際会議場にて開催しました。20回目となる本コンサートには、応募総数3,528通の中から500組1,000名さまをご招待し、東海地区を代表するオーケストラ「名古屋フィルハーモニー交響楽団」と、地元出身の若手ピアニスト岩崎洵奈氏、指揮者に角田鋼亮氏を迎え、迫力ある演奏をお楽しみいただきました。



「エコノミクス甲子園」を開催!! [平成28年12月]

 第十一回 全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園 岐阜大会」を開催しました。
 21チーム・42名が、金融経済の知識を競い合い、白熱した戦いを繰り広げました。



地元のお祭りに参加



各地域で清掃活動



一日警察署長として年末警戒運動



特殊詐欺防止の呼びかけ

地域に根ざした
 様々な貢献活動
 をしています。



公益財団法人十六地域振興財団による地域貢献活動

十六地域振興財団は、地域社会への貢献を目的として設立され、地域における産業振興、社会生活環境の整備、文化・スポーツ・国際交流などの活動に助成しています。平成28年度は27件、663万円の助成実績となっています。

また返還不要の奨学生支援事業も行っており、平成28年度は63名の奨学生に対して、年間2,380万円の奨学金を給付しました。



「クララザールじゅうろく音楽堂」は開館2年目となりました。平成28年度は十六地域振興財団主催のコンサートを4回開催、また音楽堂ホールの貸出しによるご利用も30組を越え、皆さまからご好評の声をいただいています。これからも芸術・文化をとおして、地域の皆さまのご期待にお応えしていきます。



海外ビジネスサポート

地域経済のために

地球環境のために

環境方針

基本理念

十六銀行グループは、環境保全への取組みを社会全体で果たすべき責務であると認識し、地域社会に奉仕する良き企業市民の責任として、事業活動を通じて環境問題に誠実に取り組むことで、持続可能な社会の形成に貢献するとともに企業価値の創造につなげます。

行動指針

- ①環境関連の法律、規則、協定等を遵守します。
- ②環境保全への取組みは経営課題のひとつであると認識し、活動の情報開示に努めます。
- ③自らの企業活動による環境への影響を正しく捉え、省エネルギー・省資源等の環境負荷の軽減に努めます。
- ④環境に配慮した金融商品・サービスの開発・提供を通じ、お客さまの環境保全の取組みを支援します。
- ⑤長期的な視野に立ち、幅広く社会と連携・協力し社会貢献活動を推進します。
- ⑥役職員一人ひとりの環境意識の向上をはかるため、啓発・教育を行います。

地域社会のために

地球環境のために

地域の皆さまとのお取引状況

「エコがつながる種まきプロジェクト」《環境保全活動》の展開

当行は、岐阜大学、岐阜市地球温暖化対策推進委員会と連携して、平成26年5月より、「エコがつながる種まきプロジェクト」を展開しています。今年度は、昨年度にお客さまが咲かせて採取したあさがおの約74,000粒の種をお送りいただき、これを岐阜市内の37店舗で配布しました。このほか岐阜市内公立小学校にも協力いただき各校へあさがおの種を配布しました。今後も、このプロジェクトを続け、お客さまとともに環境保全活動を行っていきます。



「エコ活動啓発ポスターコンクール」(環境啓発活動)

平成28年12月、岐阜大学との連携活動として、環境問題に対する意識の啓発に役立てることを目的とした「エコ活動啓発ポスター」の募集を岐阜大学附属小・中学校の生徒を対象に行いました。多数の応募の中から、表彰作品を決定し、受賞した生徒一人ひとりに対して表彰状と副賞を贈りました。

また、表彰作品の一部は、もうひとつの連携活動である「エコがつながる種まきプロジェクト」の配布物に掲載しています。

本活動は、6回目の実施となりますが、今後も岐阜大学との連携活動として継続的に取り組み、より一層環境保全を広める活動を推進していきます。



エコ活動啓発ポスター表彰作品



地域の皆さまとのお取引状況

平成29年3月31日現在

地域の皆さまへの貸出の状況

貸出金残高に占める岐阜・愛知県内での貸出金残高割合88.6%、貸出先数に占める岐阜・愛知県内での貸出先数割合は99.4%です。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指します。



個人に対する貸出の状況



地域の皆さまからのお預入れの状況

平成29年3月31日時点での預金等残高5兆4,686億円のうち、岐阜・愛知県内での預金等残高は5兆4,176億円で、99.0%を占めています。

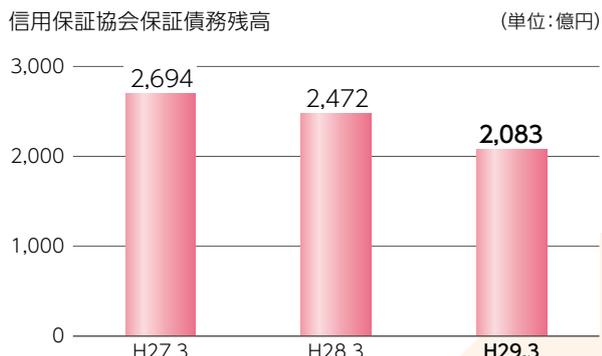


中小企業等に対する貸出の状況

貸出金残高に占める中小企業等への貸出金残高割合は76.1% (3兆756億円) です。



信用保証協会保証債務残高



平成28年度業績ハイライト

ピックス

十六銀行のCSR

商品・サービスガイド

株式についてのご案内

十六銀行の概要